2018 年 2 月 5 日 ・ 190

「我が懐かしき」歌のシリーズは(最初はこんなに続けられると思っていませんでしたが) 昨年の 2 月 18 日から始めてほぼ 1 年になり、歌の総数は 189 曲となりました。しかし、そろそろネタも尽きてきましたので、一旦ここら辺で閉じさせて頂きます。投稿した歌は全てメロディーは知っていたものばかりですが、1 曲だけ知らなかったものを入れました。8/6 掲載の佐々木祐滋作曲「祈り」です。広島の原爆の日にちなんで、佐々木禎子、折り鶴で検索したら、この歌が出てきました。作曲者が禎子さんの甥御さんというのも何か繋がりを感じました。
途中から、少し歌について調べ始めたら、これが思いの外面白く、はまってしまいました。毎回見てくださった方、コメント下さった方々、ありがとうございました。今日の歌は新しいものですが、1 年 365 日近く経ったという意味も込めて、「365 日の紙飛行機」(190 曲目):
(歌の題名のリストを作ったので、後ほど載せます。)

『365 日の紙飛行機』
作詞: 秋元康 作曲: 角野寿和/青葉紘季

朝の空を見上げて
今日という一日が
笑顔でいられるように
そっとお願いした

時には雨も降って
涙も溢れるけど
思い通りにならない日は
明日 頑張ろう

ずっと見てる夢は
私がもう一人いて
やりたいこと 好きなように
自由にできる夢

人生は紙飛行機
願い乗せて飛んで行くよ
風の中を力の限り
ただ進むだけ
その距離を競うより

どう飛んだか　どこを飛んだのか
それが一番　大切なんだ
さあ　心のままに
365 日

星はいくつ見えるか
何も見えない夜か
元気が出ない　そんな時は
誰かと話そう

人は思うよりも
一人ぼっちじゃないんだ
すぐそばのやさしさに
気づかずにいるだけ

人生は紙飛行機
愛を乗せて飛んでいるよ
自信持って広げる羽根を
みんなが見上げる
折り方を知らなくても
いつのまにか飛ばせるようになる
それが希望　推進力だ
ああ　楽しくやろう
365 日

人生は紙飛行機
願い乗せて飛んで行くよ
風の中を力の限り
ただ進むだけ
その距離を競うより
どう飛んだか　どこを飛んだのか
それが一番　大切なんだ
さあ　心のままに
365 日

飛んで行け!
飛んでみよう!
飛んで行け!
飛んでみよう!

飛んで行け!
飛んでみよう!

2018 年 2 月 3 日 ・

少し早いですが、「卒業式の歌」。この卒業式の歌は大正 6 年、浜松師範学校第 1 回講習科卒業生のために作曲されたものだそうです。なぜこれを自分が覚えているのか分かりませんが、下の姉が家で歌っていたような気がします。二番の 4 行目の「登り極めん國のため」辺りは時代を感じさせます。

『卒業式の歌』
作詞: 黒岩　胤　作曲: 佐々木すぐる

（全員）
四方の山々　霞（かすみ）つつ
花咲く春の　かえり来ぬ

（卒業生）
嗚呼　この春に　巡り逢い
今日の誉（ほま）れを　擔（にな）へるは
これぞ　師の恩　友の援（たす）け
何時（いつ）の世にかは　忘（わす）るべき

行く手　遙（はる）けき　九十九（つづら）折
如何にけわしく　さがしとも
訓（おし)え　身にしめ　一筋（ひとすじ）に
登（のぼ)り　極（きわ）めん　國のため

（在校生）
学（まな）びの窓（まど）の　雪蛍（ゆきほたる）
集（あつ）めし功（いさお)　今日(きょう)なりて
輝（かがや）く玉（たま）の桂(ますら）をば
手（た）折る　君（きみ）こそ　めでたけれ

今日を限りの　別れかと
思えばいとゞ（ど）　名残惜し

さはれ　栄えあるこの門出
祝（い）はざらべや　勇ましく

（卒業生）
さらーばよ
（在校生）
さーらば
（教職員保護者）
いざーさらば

2018 年 2 月 1 日 ・

「四季の歌」。元々は、作者である荒木とよひさが、昭和 39 年(1964)、日大スキー部時代に骨折し、入院した新潟県妙高市の関温泉の情景をモチーフに、退院時に、看護師に対してのお礼として作成した曲だそうです。口コミで広まったと言われています。

『四季の歌』
荒木とよひさ作詞・作曲

春を愛する人は　心清き人
すみれの花のような　ぼくの友だち

夏を愛する人は　心強き人
岩をくだく波のような　ぼくの父親

秋を愛する人は　心深き人
愛を語るハイネのような　ぼくの恋人

冬を愛する人は　心広き人
根雪をとかす大地のような　ぼくの母親

2018 年 1 月 30 日 ・

「ドナドナ」 (Dona Dona) は、世界の多くの国で歌われているイディッシュ（中東欧ユダヤ文化）の歌ということです。イディッシュ語はドイツ語を基盤としてヘブライ語、スラブ語などの単語が散りばめられたもののようで、以前はヘブライ文字で書かれていましたが、現在では、アルファベットも使われるようです。あらためて歌詞を見るとこの訳では乳牛だか肉牛だか分からないですが、同じ安井かずみ訳で肉牛だと分かるものもあるようで(英詞参照)、さらに悲しい歌になります。昭和 41 年(1966)の NHK の「みんなのうた」(2008 再放送)では岸洋子さんが歌っていました。

『ドナドナ』
作詞: アーロン・ゼイトリン(安井かずみ訳)
作曲: ショロム・セクンダ

ある晴れた　昼さがり　いちばへ　続く道
荷馬車が　ゴトゴト　子牛を　乗せてゆく
かわいい子牛　売られて行くよ
悲しそうなひとみで　見ているよ
ドナ　ドナ　ドナ　ドナ　子牛を　乗せて
ドナ　ドナ　ドナ　ドナ　荷馬車が　ゆれる

青い空　そよぐ風　つばめが　飛びかう
荷馬車が　いちばへ　子牛を　乗せて行く
もしもつばさが　あったならば
楽しい牧場に　帰れるものを
ドナ　ドナ　ドナ　ドナ　子牛を　乗せて
ドナ　ドナ　ドナ　ドナ　荷馬車が　ゆれる

英語版
On a wagon bound for market
There's a calf with a mournful eye
High above him there's a swallow
Winging swiftly through the sky
How the winds are laughing
They laugh with all the their might
Laugh and laugh the whole day through

And half the summer's night
Donna Donna Donna Donna
Donna Donna Donna Don
Donna Donna Donna Donna
Donna Donna Donna Don

"Stop complaining", said the farmer
Who told you a calf to be
Why don't you have wings to fly with
Like the swallow so proud and free
How the winds are laughing
They laugh with all the their might
Laugh and laugh the whole day through
And half the summer's night
Donna Donna Donna Donna
Donna Donna Donna Don
Donna Donna Donna Donna
Donna Donna Donna Don

Calves are easily bound and slaughtered
Never knowing the reason why
But whoever treasures freedom
Like the swallow has learned to fly
How the winds are laughing
They laugh with all the their might
Laugh and laugh the whole day through
And half the summer's night
Donna Donna Donna Donna
Donna Donna Donna Don
Donna Donna Donna Donna
Donna Donna Donna Don

2018 年 1 月 28 日 ·

「俺ら岬の灯台守は」で思い出すのは「灯台守」。昭和 22 年(1947)に文部省発行の教科書「五年生の音楽」に掲載されたもので、メロディーは輸入ものです。「灯台守」の原曲と考えられているのは、アメリカで 1859 年に作曲された賛美歌（キャロル）『天なる神には（あめなるかみには）It Came Upon the Midnight Clear』。歌詞は、マサチューセッツ州ウェイランドの牧師 Edmund H. Sears が 1849 年に作詞したもので、1850 年にアメリカの音楽家 Richard Storrs Willis によって作曲されました。ちなみに、灯台は、戦前は逓信省灯台局などが灯台の業務を所管していましたが、戦後の灯台業務は新設の海上保安庁に統合されました。日本では長崎県五島市女島灯台が平成 18 年(2006）12 月 5 日に無人化されて、国内の灯台守はなくなったということです。

『灯台守』とうだいもり
作詞：勝承夫　原曲：アメリカのキャロル

こおれる月かげ　空にさえて
真冬の荒波　よする小島
おもえよ　とうだい　まもる人の
とうときやさしき　愛の心

はげしき雨風　北の海に
山なす荒波　たけりくるう
その夜も　灯台　まもる人の
とうとき誠よ　海を照らす

原詞　by Edmund H. Sears

It came upon the midnight clear,
That glorious song of old,
From angels bending near the earth,
To touch their harps of gold;
“Peace on the earth, good will to men,
From Heaven’s all gracious King.”
The world in solemn stillness lay,
To hear the angels sing.

Still through the cloven skies they come
With peaceful wings unfurled,
And still their heavenly music floats
O'er all the weary world;
Above its sad and lowly plains,
They bend on hovering wing,
And ever over its Babel sounds
The blessèd angels sing.

Yet with the woes of sin and strife
The world has suffered long;
Beneath the angel strain have rolled
Two thousand years of wrong;
And man, at war with man, hears not
The love-song which they bring;
O hush the noise, ye men of strife
And hear the angels sing.

And ye, beneath life's crushing load,
Whose forms are bending low,
Who toil along the climbing way
With painful steps and slow,
Look now! for glad and golden hours
Come swiftly on the wing.
O rest beside the weary road,
And hear the angels sing!

For lo! the days are hastening on,
By prophet-bards foretold,
When with the ever circling years
Comes round the age of gold;
When peace shall over all the earth
Its ancient splendors fling,
And the whole world send back the song
Which now the angels sing.

賛美歌 114 番

「あめなる神には　みさかえあれ
地に住む人には　やすきあれ」と
み使いこぞりて　ほむる歌は
静かにふけゆく　夜にひびけり

今なおみ使い　翼をのべ
疲れしこの世を　おおい守り
かなしむ都に　なやむひなに
慰めあたうる　歌をうたう

重荷を負いつつ　世の旅路に
悩める人々　かしらをあげ
栄えあるこの日を　たたえ歌う
楽しき歌声　ききていこえ

み使いの歌う　やすききたり
ひさしく聖徒の　待ちしくにに
主イェスを平和の　君とあがめ
あまねく世の民　高く歌わん

2018 年 1 月 26 日 ・

「喜びも悲しみも幾歳月」。昭和 32 年(1957)9 月リリース。なんでも、田中きよさんが昭和 31 年(1956）に手記「海を守る夫とともに二十年」を雑誌「婦人倶楽部」に寄稿したとき、この手記を読んで感動した木下恵介が制作したのが、映画「喜びも悲しみも幾年月」だということです。当時、夫の績（いさお）さんは福島県いわき市の塩屋崎灯台の灯台長でした。
昭和 31 年というと、私は小学 2 年生で、おそらく姉が歌っていたのを聴いて覚えたのだと思いますが、「俺ら岬」は長いこと「おいら岬」という名前の岬だと思っていました。ちなみに「灯をかざす」なんですね。「灯をともす」と記憶していました。(参考: Wikipedia)

『喜びも悲しみも幾歳月』
　作詞・作曲：木下忠司

1)俺ら岬の灯台守は
　妻と二人で　沖行く船の
　無事を祈って　灯をかざす
　　灯をかざす

2)冬が来たぞと　海鳥啼けば
　北は雪国　吹雪の夜の
　沖に霧笛が　呼びかける
　　呼びかける

3)離れ小島に　南の風が
　吹けば春来る　花の香便り
　遠い故里　思い出す
　　思い出す

4)星を数えて　波の音きいて
　共に過ごした　幾歳月の
　よろこび　悲しみ　目に浮かぶ
　　目に浮かぶ

2018 年 1 月 24 日 ・

「ことりのうた（小鳥の歌）」。昭和 29 年(1954)発表の童謡です。

『ことりのうた』
作詞: 与田準一　作曲: 芥川也寸志

小鳥はとっても　歌がすき
母さん呼ぶのも　歌でよぶ
ピピピピピ
チチチチチ　ピチクリピイ

小鳥はとっても　歌がすき
父さん呼ぶのも　歌でよぶ
ピピピピピ
チチチチチ　ピチクリピイ

2018 年 1 月 22 日 ·

「ビビディ・バビディ・ブー」は、ディズニー映画「シンデレラ」で使われた「魔法の歌」です。ビビディ・バビディ・ブーという言葉は呪文の言葉で、特別な意味はないそうです。日本では 1952 年 5 月、江利チエミのシングルの B 面として発表されました。日本語訳詞は音羽たかし。また、青木爽の訳詞で 1962 年 12 月 - 1963 年 1 月に NHK の『みんなのうた』で放送（歌 - スリー・グレイセス）されました。

『ビビディ・バビディ・ブー』
日本語訳: 音羽たかし 作曲: ディズニー

サラガドゥラ　メチカブラ
ビビディ・バビディ・ブー
うたえ踊れ楽しく
ビビディ・バビディ・ブー

サラガドゥラ　メチカブラ
ビビディ・バビディ・ブー

さあさみんな元気に
ビビディ・バビディ・ブー

全てこの世は　嫌なことなど
さらりとすててほがらかに
ビビディ・バビディ・ブー
ビビディ・バビディ・ブー

サラガドゥラ　メチカブラ
ビビディ・バビディ・ブー
うたえ踊れ陽気に
ビビディ・バビディ・ブー

原曲
作曲アル・ホフマン、マック・デビッド、作詞ジェリー・リビングストン

Salagadoola mechicka boola
bibbidi-bobbidi-boo
Put 'em together and what have you got
bibbidi-bobbidi-boo

Salagadoola mechicka boola
bibbidi-bobbidi-boo
It'll do magic believe it or not
bibbidi-bobbidi-boo

Salagadoola means mechicka booleroo
But the thingmabob that does the job is
bibbidi-bobbidi-boo

Salagadoola menchicka boola
bibbidi-bobbidi-boo

Put 'em together and what have you got
bibbidi-bobbidi bibbidi-bobbidi bibbidi-bobbidi-boo

2018 年 1 月 20 日 ・

昨日、和光市駅の改札口を出て西口に出たところで、童謡詩人清水かつらの歌碑を見つけました。表には「緑のそよ風」(4/5 掲載)、「靴が鳴る」、「しかられて」(9/18 掲載)の 3 つの歌、裏には清水かつらの紹介が記されていました。理研で用事を終えて駅に戻ると、往きには気付かなかったもう一つの碑を見つけました。「ニホニウム」の命名を記念する記念碑でした。理研の森田グループが 2003 年に発見し、2016 年に正式に Nh ニホニウムと命名されたのでした。周期表の 113 番目に日本発の元素が載ったという素晴らしいニュースを思い出します。
そういえば、「靴が鳴る」をまだ掲載していませんでした。

『靴が鳴る』
作詞: 清水かつら 作曲: 弘田龍太郎

おててつないで　野道を行けば
みんな可愛い　小鳥になって
歌をうたえば　靴が鳴る
晴れたみ空に　靴が鳴る

花をつんでは　お頭（つむ）にさせば
みんな可愛い　うさぎになって
はねて踊れば　靴が鳴る
晴れたみ空に　靴が鳴る

2018 年 1 月 18 日 ・
「手をたたきましょう」の次に「幸せなら手をたたこう」を出すつもりのところ、逆になってしまいました。ボケです。

『手をたたきましょう』の原曲については、チェコ民謡かリトアニア民謡か、という論争？がありますが、リトアニア民謡『クルンパコイス Klumpakojis』は、足踏みをして手をたたく動作が両方含まれるフォークダンスとして今日まで広く知られており、童謡『手をたたきましょう』との内容的な関連性がかなり高いと言えそうです。「結んで開いて」と同じく、手遊びの歌になっています。

『手をたたきましょう』
作詞: 小林純一 作詞: リトアニア民謡(またはチェコ民謡)

手をたたきましょう
タンタンタン タンタンタン
足ぶみしましょう
タンタンタンタン タンタンタン
笑いましょう アッハッハ
笑いましょう アッハッハ
アッハッハ アッハッハ
ああ面白い

手をたたきましょう
タンタンタン タンタンタン
足ぶみしましょう
タンタンタンタン タンタンタン

おこりましょう ウンウンウン
おこりましょう ウンウンウン
ウンウンウン ウンウンウン
ああ面白い

手をたたきましょう
タンタンタン タンタンタン
足ぶみしましょう
タンタンタンタン タンタンタン

泣きましょう　エンエンエン
泣きましょう　エンエンエン
エンエンエン　エンエンエン　ああ面白い

＜手遊びのやり方＞
手をたたきましょう「タンタンタン　タンタンタン」で 6 回拍手
足ぶみしましょう「タンタンタンタン　タンタンタン」で 7 回足踏み
＃1 番は手をパーにひろげて「アッハッハ」
＃2 番は腕組みして「ウンウンウン」
＃3 番は目の下に手をあてて「エンエンエン」

英語版
『LET US CLAP OUR HANDS, OKAY』
作詞：Drennan Henry V

Let us clap, our hands, okay
Clap, clap, clap
Clap, clap, clap
Let us stamp, our feet, okay
Stamp, stamp, stamp, stamp
Stamp, stamp, stamp

Laugh, we will now laugh
Ha, ha, ha
Laugh, we will now laugh
Ha, ha, ha
Ha, ha, ha
Ha, ha, ha
Oh, I think I like this game

■Repeat
Now, let's get angry. Ugh,ugh,ugh.
Now, let's get angry. Ugh,ugh,ugh.
Ugh,ugh,ugh.Ugh,ugh,ugh.
Oh,I think I like this game.

■Repeat
Cry, we will now cry. Wee,wee,wee.
Cry, we will now cry. Wee,wee,wee.
Wee,wee,wee.Wee,wee,wee.
Oh,I think I like this game.

2018 年 1 月 17 日 ・

「手をたたきましょう」ときて思い出すのは「幸せなら手をたたこう」。昭和 39 年(1964)5 月リリース。作詞者の木村利人が学生時代フィリピンでボランティア活動をしていた際に原曲を耳にし、帰国後これに詞をつけたものが仲間内の愛唱歌として歌われていました。これを偶然坂本九が耳にし、いずみたくの元にうろ覚えのまま持ち込み、それを元にいずみが採譜してレコード化、全国的にヒットすることとなったということです（なお、いずみはこの曲限定で「有田怜」というペンネームを使っています）。この歌が、坂本九の記憶と結びついている理由が分かりました。翌昭和 40 年(1965)の春には、第 37 回選抜高校野球大会の開会式入場行進曲にも使用されました。(参考: Wikipedia)

『幸せなら手をたたこう』
作詞: きむら・りひと 曲: スペイン民謡

幸せなら　手をたたこう
幸せなら　手をたたこう
幸せなら　態度でしめそうよ
ほら　みんなで　手をたたこう

幸せなら　足ならそう
幸せなら　足ならそう
幸せなら　態度でしめそうよ
ほら　みんなで　足ならそう

幸せなら　肩たたこう
幸せなら　肩たたこう

幸せなら　態度でしめそうよ
ほら　みんなで　肩たたこう

幸せなら　ほっぺたたこう
幸せなら　ほっぺたたこう
幸せなら　態度でしめそうよ
ほら　みんなで　ほっぺたたこう

幸せなら　ウィンクしよう
幸せなら　ウィンクしよう
幸せなら　態度でしめそうよ
ほら　みんなで　ウィンクしよう

幸せなら　指ならそう
幸せなら　指ならそう
幸せなら　態度でしめそうよ
ほら　みんなで　指ならそう

幸せなら　泣きましょう
幸せなら　泣きましょう
幸せなら　態度でしめそうよ
ほら　みんなで　泣きましょう

幸せなら　笑いましょう
幸せなら　笑いましょう
幸せなら　態度でしめそうよ
ほら　みんなで　笑いましょう

幸せなら　手をつなごう
幸せなら　手をつなごう
幸せなら　態度でしめそうよ
ほら　みんなで　手をつなごう

幸せなら　とび上がろう
幸せなら　とび上がろう
幸せなら　態度でしめそうよ
ほら　みんなで　とび上がろう

幸せなら　相づち打とう
幸せなら　相づち打とう
幸せなら　態度でしめそうよ
ほら　みんなで　相づち打とう

幸せなら　最初から
幸せなら　最初から
幸せなら　態度でしめそうよ
ほら　みんなで　最初から

2018 年 1 月 16 日 ・

「結んで開いて」にはいろいろな歴史や逸話があるようです。原曲はフランスのジャン＝ジャック・ルソーが作曲したもので、1753 年 3 月から一般公開されたオペラ『村の占い師』第 8 場のパントマイム劇に用いられました。このメロディーはイギリスでは賛美歌として改編され、賛美歌『グリーンヴィル』("Greenville")として知られています。米国では同時期に「大事にしていたガチョウが死んだってローディーおばさんに教えなよ」という歌詞で始まるアメリカ民謡 "Go tell Aunt Rhody"として知られています。
日本では、明治 7 年(1874)前後に賛美歌『グリーンヴィル』として導入され、、明治 14 年（1881）11 月刊行の文部省音楽取調掛編著『小学唱歌集』初編に『見渡せば』として収められて広く知られるようになりました。 これは、古今和歌集にある素性法師の和歌 「みわたせば柳桜をこきまぜて宮こぞ春の錦なりける」からとられたということです。昭和 6 年(1931）以降は賛美歌集には掲載されていないようです。海老沢敏は著書『むすんでひらいて考』の中で、この歌が唱歌や軍歌として知られ過ぎてしまったのが要因ではないかと述べていますが、国外では現在も賛美歌として歌われているようです『見渡せば』も賛美歌同様、広まる前に消えてしまいました。第二次大戦後、昭和 22 年(1947)、小学一年向けの音楽の教科書『一ねんせいのおんがく』に「むすんでひらいて」として掲載されて以来歌い続けられ、近年は小学校よりも保育園や幼稚園の手遊び歌として歌われています。

2 歳の孫に歌って聴かせたら、すぐに「手遊び」を披露してくれました。

『むすんでひらいて』
作詞：文部省唱歌　作曲：Jean Jacques Rousseau

※むすんで　ひらいて
てをうって　むすんで
またひらいて　てをうって
そのてを　うえに
むすんで　ひらいて
てをうって　むすんで※

(※くり返し)

△むすんで　ひらいて
てをうって　むすんで
またひらいて　てをうって
そのてを　したに
むすんで　ひらいて
てをうって　むすんで△

(△くり返し)

『見渡せば』
作詞:柴田清照/稲垣千頴　作曲：Jean Jacques Rousseau

見渡せば　青やなぎ、
花桜　こきまぜて、
みやこには　道もせに
春の錦をぞ。

佐保姫の　織りなして、
降る雨に　そめにける。
見渡せば　山べには、
尾上にも　ふもとにも、

うすき濃き もみじ葉の
秋の錦をぞ。
竜田姫 織りかけて、
つゆ霜に さらしける。

『戦闘歌』
作詞 鳥居忱 明治 28 年(1895)

見渡せば 寄せて来る、
敵の大軍 面白や。
スハヤ戦闘(たたかい)始まるぞ。
イデヤ人々攻め崩せ。

弾丸（たま）込めて撃ち倒せ。
敵の大軍撃ち崩せ。
見渡せば 崩れ懸る、
敵の大軍心地よや。

モハヤ戦闘(たたかい)勝なるぞ。
イデヤ人々追い崩せ。
銃剣附けて突き倒せ。
敵の大軍突き崩せ。

『Greenville』
作詞 John Fawcett 1773 年

Lord, dismiss us with Thy blessing
Fill our hearts with joy and peace

Let us each Thy love possessing
Triumph in redeeming grace.
O refresh us, O refresh us,
Traveling through this wilderness.

Thanks we give and adoration
For Thy Gospel's joyful sound
May the fruits of Thy salvation
In our hearts and lives abound.
Ever faithful, ever faithful,
To the truth may we be found.

So that when Thy love shall call us,
Savior, from the world away,
Let no fear of death appall us,
Glad Thy summons to obey.
May we ever, may we ever,
Reign with Thee in endless day.

『Go tell Aunt Rhody 』(アメリカ)
作詞者不明(19 世紀中頃)

Go tell Aunt Rhody (3 回繰り返し)
The old grey goose is dead.
The one that she's been savin' (3 回繰り返し)
To make a feather bed.

She died in the millpond (3 回繰り返し)
From standin' on her head.
The goslings are crying (3 回繰り返し)
Because their mammy's dead.
The gander is weeping (3 回繰り返し)
Because his wife is dead.

2018 年 1 月 13 日 ・

「きらきら星」のメロディーは元々フランス民謡(シャンソン)で、W.A.モーツァルトの「きらきら星変奏曲」"Variationen über ein französisches Lied "Ah, vous dirai-je, maman"(ああ、お母さん、あなたに申しましょう)ハ長調 K. 265(1778 年)の題名から分かるように、歌詞は娘がお母さんに恋の悩みを打ち明けるものでしたが、その後、イギリスの詩人、ジェーン・テイラーの 1806 年の英語詩 “The Star” による替え歌 "Twinkle, twinkle, little star"（きらめく小さなお星様）として世界的に広まり、現在でも世界中で愛唱されています。マザー・グースの 1 つに分類されているそうです。モーツァルトは 1791 年に亡くなっているのでこの詩は知らなかったはずで、この曲が「きらきら星変奏曲」と呼ばれるとは思いもしなかったことでしょう。

日本には英訳の "Twinkle, twinkle, little star"を元にして大正時代に紹介されました。大正 3 年(1914）に発行された『英語唱歌教科書 巻一』に"Twinkle, twinkle, little star"の近藤逸五郎訳詞が掲載されています。複数の日本語詞が知られていますが、昭和 43 年(1968)には NHK の『みんなのうた』でも、『ティンクル・ティンクル・リットル・スター』というタイトルで紹介され、同番組では珍しい英語での放送となりました。このメロディーは「ABC の歌」としても知られていますね。(参考: Wikipedia)

『きらきら星』
武鹿悦子作詞・フランス民謡

きらきらひかる
お空の星よ
まばたきしては
みんなを見てる
きらきらひかる
お空の星よ

きらきらひかる
お空の星よ
みんなの歌が
届くといいな
きらきらひかる
お空の星よ

『The Star』
作詞: Jane Taylor、曲: フランス民謡

Twinkle, twinkle, little star,
How I wonder what you are!
Up above the world so high,
Like a diamond in the sky.
Twinkle, twinkle, little star,
How I wonder what you are!

フランス語原詞 (バリアントもあるようです。)

Ah! Vous dirai-je, Maman,
Ce qui cause mon tourment ?
Depuis que j'ai vu Silvandre,
Me regarder d'un air tendre ;

Mon cœur dit à chaque instant :
« Peut-on vivre sans amant ? »

L'autre jour, dans un bosquet,
De fleurs il fit un bouquet ;
Il en para ma houlette
Me disant : « Belle brunette,
Flore est moins belle que toi ;
L'amour moins tendre que moi. »

Je rougis et par malheur
Un soupir trahit mon cœur.
Le cruel avec adresse,
Profita de ma faiblesse :
Hélas, Maman ! Un faux pas
Me fit tomber dans ses bras.

Je n'avais pour tout soutien
Que ma houlette et mon chien.
L'amour, voulant ma défaite,
Ecarta chien et houlette ;
Ah ! Qu'on goûte de douceur,
Quand l'amour prend soin d'un cœur !

ABC の歌の歌詞（一例）

A - B - C - D - E - F - G
H - I - J - K - L - M - N
O - P - Q - R - S - T - U -
V -W and X - Y - Z
Now I know my A - B - C
Won't you come and sing with me?

(最後の 2 行もバリエーションがいくつかあるようです。)

2018 年 1 月 11 日 ・

「山の音楽家」。昭和 39 年(1964)4 月-5 月に NHK の『みんなのうた』で服部克久の編曲、ダークダックスの歌によって放送されました。水田詩仙による日本語詞「山の音楽家」は原詞とは異なり、リスがバイオリン、ウサギがピアノ、小鳥がフルート、タヌキが太鼓をそれぞれ演奏しています。山川啓介による訳「みんな音楽家」もあります。参考までに原詞も掲載します。

『山の音楽家』
水田詩仙訳詞・ドイツ曲

わたしゃ音楽家　山の小りす
じょうずに　バイオリン　ひいてみましょう
キュキュ　キュッキュッキュ
キュキュ　キュッキュッキュ
キュキュ　キュッキュッキュ
キュキュ　キュッキュッキュ
いかがです

わたしゃ音楽家　山のうさぎ
じょうずに　ピアノを　ひいてみましょう
ポポ　ポロンポロンポロン
ポポ　ポロンポロンポロン
ポポ　ポロンポロンポロン
ポポ　ポロンポロンポロン
いかがです

わたしゃ音楽家　山の小鳥
じょうずに　フルート　ふいてみましょう
ピピ　ピッピッピ
ピピ　ピッピッピ
ピピ　ピッピッピ
ピピ　ピッピッピ
いかがです

わたしゃ音楽家　山のたぬき
じょうずに　太鼓(たいこ)を　たたいてみましょう
ポコ　ポンポンポン
ポコ　ポンポンポン
ポコ　ポンポンポン
ポコ　ポンポンポン
いかがです

わたしゃ音楽家　山の仲間
じょうずに　そろえて　ひいてみましょう
タタ　タンタンタン
タタ　タンタンタン
タタ　タンタンタン
タタ　タンタンタン
いかがです

『ICH BIN EIN MUSIKANTE』(原詞)
作詞：不詳／作曲：不詳／成立年代未詳

１.
Ich bin ein Musikante
Und komm' aus Schwabenland ;
Wir sind auch Musikanten
Und komm'n aus Schwabenland
Ich kann spielen auf der Geige ;
Wir können spielen auf der Geige
Sim sum serim sim sum serim
Sim sum serim sim sum...

２.
Ich bin ein Musikante
Und komm' aus Schwabenland ;
Wir sind auch Musikanten
Und komm'n aus Schwabenland

Ich kann spielen auf meiner Flöte ;
Wir können spielen auf uns'rer Flöte
Tü tü tü tü tü tü tü tü
Tü tü tü tü tü tü...

3.
Ich bin ein Musikante
Und komm' aus Schwabenland ;
Wir sind auch Musikanten
Und komm'n aus Schwabenland
Ich kann spielen auf meiner Trompete ;
Wir können spielen auf uns'rer Trompete
Tä tä tärä tä tä tärä
Tä tä tärä tä tä ...

4.
Ich bin ein Musikante
Und komm' aus Schwabenland ;
Wir sind auch Musikanten
Und komm'n aus Schwabenland
Ich kann spielen auf meiner Trommel ;
Wir können spielen auf uns'rer Trommel
Tum tum turum tum tum turum
Tum tum turum tum tum...

5.
Ich bin ein Musikante
Und komm' aus Schwabenland ;
Wir sind auch Musikanten
Und komm'n aus Schwabenland
Ich kann spielen auf meiner Gitarre ;
Wir können spielen auf uns'rer Gitarre
Kling kling tetick kling kling tetick
Kling kling tetick kling kling...

2018 年 1 月 9 日 ・

「椰子の実」（やしのみ）は島崎藤村の詩で、明治 34 年(1901）に刊行された詩集「落梅集」に収録されています。この詩は明治 31 年(1898）の夏、1 ヶ月半ほど伊良湖岬に滞在した柳田國男が浜に流れ着いた椰子の実の話を藤村に語り、藤村がその話を元に創作したものということです。昭和 11 年(1936)発表。(参考、Wikipedia)

『椰子(やし)の実』
島崎藤村作詞・大中寅二作曲

名も知らぬ　遠き島より
流れ寄る　椰子の実一つ

故郷(ふるさと)の岸を　離れて
汝(なれ)はそも　波に幾月(いくつき)

旧(もと)の木は　生(お)いや茂れる
枝はなお　影をやなせる

われもまた　渚(なぎさ)を枕
孤身(ひとりみ)の　浮寝(うきね)の旅ぞ

実をとりて　胸にあつれば
新(あらた)なり　流離(りゅうり)の憂(うれい)

海の日の　沈むを見れば
激(たぎ)り落つ　異郷(いきょう)の涙

思いやる　八重(やえ)の汐々(しおじお)
いずれの日にか　国に帰らん

2018 年 1 月 7 日 ・

「山小屋の灯」。昭和 22 年（1947）にNHKのラジオ歌謡として発表され、米山正夫の代表作の1つとなりました。二番の歌詞より、山小屋からは北アルプスの白馬岳(標高 2933 メートル)、穂高岳(最高峰は奥穂高岳で 3190 メートル)が見えるようです。(参考: 二木紘三のうた物語)

『山小屋の灯』
作詞・作曲　米山正夫

1. たそがれの灯は　ほのかにともりて
　なつかしき山小屋は　麓の小径よ
　思い出の窓により　君をしのべば
　風は過ぎし日の　歌をばささやくよ

2. 暮れゆくは白馬か　穂高はあかねよ
　樺の木のほの白き　影もうすれ行く
　さびしさに君よべど　わが声むなし
　遥か谷間より　こだまはかえりくる

3. 山小屋の灯は　今宵もともりて
　ひとり聞くせせらぎも　静かにふけゆく
　あこがれは若き日の　夢を乗せて
　夕べ星のごと　み空に群れ飛ぶよ

2018 年 1 月 5 日 ·

「冬の夜」。初出は明治 45 年 3 月尋常小学唱歌（三）。一番だけを懐かしい歌として憶えていましたが、二番の歌詞を見ると「過ぎしいくさの手柄を語る」とあって、日清・日露、いずれかの戦争が背景にあるようです。そのため、戦後は歌詞を「過ぎし昔の思い出語る」に変えて歌われるようになったようです。(参考: Wikipedia)

『冬の夜』
作詞・作曲者不明
文部省唱歌　　編曲　寺嶋　陸也

燈火（ともしび）近く衣（きぬ）縫う母は
春の遊びの、楽しさ語る。
居並ぶ子どもは指を折りつつ
日数（ひかず）かぞえて喜び勇む。
囲炉裏火はとろとろ
外は吹雪。

囲炉裏のはたに縄なう父は
過ぎしいくさの手柄を語る。(過ぎし昔の思い出語る)
居並ぶ子どもはねむさ忘れて
耳を傾けこぶしを握る。
囲炉裏火はとろとろ
外は吹雪

2018 年 1 月 3 日 ・
『たこのうた（凧の歌）』は、明治 43 年(1910）に『尋常小学読本唱歌』で発表された文部省唱歌。凧は、平安時代の初めごろに日本に中国から伝来したとされ、中国では「紙鳶」や「紙老鴟」などと表記されていた。日本では、バランスをとるための長い足をつけていたことから、京の都では「いかのぼり」と呼ばれるようになった。
一方で、江戸ではこの「いかのぼり」を現在のように「たこ」と名づけていた。イカがタコになった経緯や時期は定かではないが、「西の都がイカなら東の江戸はタコだ」と子供っぽく対抗していたとしたら面白い。(参考: worldfolksong.com)

『たこの歌』
作詞作曲　不詳　(文部省唱歌)

1)
たこたこあがれ

風 よくうけて
雲 まであがれ
天 まであがれ

2)
絵凧に 字凧
どちらも負けず
雲まであがれ
天まであがれ

3)
あれあれさがる
引け引け糸を
あれあれあがる
離すな糸を

2018 年 1 月 1 日 ·

新年おめでとうございます。世界と日本周辺は心配なことが多いですが、どうか平和で、苦しむ人の少しでも少なくなる一年であってほしいと願います。
年の初めといえば、『一月一日』(いちげついちじつ」)。千家尊富（せんげ たかとみ）作詞、上眞行（うえ さねみち）作曲の小学唱歌。千家尊富は出雲大社の宮司で、この歌は明治 26 年(1893）に文部省より「小学校祝日大祭日歌詞並楽譜」の中で発表された唱歌です。(参考: worldfolksong.com)

『一月一日』
作詞: 千家尊福 作曲: 上眞行

年の始めの 例（ためし）とて
終（おわり）なき世の めでたさを
松竹（まつたけ）たてて 門ごとに
祝（いお）う今日こそ 楽しけれ

初日のひかり　さしいでて
四方（よも）に輝く　今朝のそら
君がみかげに比（たぐ）えつつ
仰ぎ見るこそ　尊（とお）とけれ